

## 風土フォーラムに寄せられた意見等一覧

### 【まちづくり】

	内 容
1	コミュニティのつながりを深めるため、数棟の建物の裏などに共有の庭として使用するスペースを作る規則などを作ったらどうか。
2	国際会議場を自然豊かな場所に建設し、隣接地には宿泊施設と広場を併設したらどうか。
3	町内にもっと広場（公園とは異なる）を設ければ、住民等の議論の場になるのではないか。
4	まちづくりについて、成功・失敗例等を学ぶ講演会を企画したらどうか。
5	日頃から、非公式な場での人と人の交流や情報交換を行うことにより、組織間の連携も強まり、災害時等にも自然に助け合えると思う。
6	人口減少を食い止めるため、在住者等を増やす取り組みとして、若い人や女性が活躍できるまちづくりを目指し、目に見えないものに予算をかけたらどうか。
7	新住民と旧住民が、お互いを少し意識しながら、軽井沢の変える所と変えない所をうまく融合出来たらよいのではないか。
8	枡形茶屋つがるや（町有物件）の活用について、お年寄りから昔話を聞ける場になれば、観光客にはこの地区を知る場となり、お年寄りには刺激が得られる場になるのではないか。
9	人口動態において、人口ビジョンの推計に実状を練り込み、住民向けメッセージを示してはどうか。
10	旧軽井沢が衰退していく状況を食い止めるために、アンケート調査を実施してはどうか。商店街の人も何が必要なのか認識できるのではないか。
11	旧軽井沢全体に統一感を持たせるとよい。建物の統一は難しいので、店舗前の土地を行政が買い、同じ材質のものを使い統一感を演出したらどうか。
12	リゾートオフィス（分散型オフィス（テレワーク）の一種で、優れた自然環境の中で、余裕を持ちながら業務を行う狙いがある。）を、自然環境豊かでまだ開拓の余地がある南地区に誘致したらどうか。
13	カフェや図書館のように皆が集いやすく、そこに行けば仲間がいてワイワイガヤガヤ話ができる場所（ワイガヤスペース）を増やせば、よいアイデアが生まれる場所となるのではないか。
14	住みやすい中軽井沢を作るためには、中軽井沢でキーパーソンとなる人物を発掘する事と拠点となる場所が必要だと思う。行政には「民」が主体となりまちづくりに取り組める仕組みづくり（キッカケづくりなど）を検討してほしいと思う。

15	軽井沢でもテレワークを推進する動きがあるが、本来軽井沢は、都会の人が仕事をするために訪れる場所ではなく、疲れた人が休息するために訪れる場所であると思う。自然の中で仕事をする環境づくりも大切だが、保養地としての軽井沢に魅力を感じてもらえるよう力を入れていくべきではないか。
16	観光客を選ぶ事は難しいが、軽井沢の品格を守るため、観光客で溢れかえる町にはして欲しくない。
17	軽井沢グランドデザインで提案する5つのエリアデザイン（旧軽井沢・新軽井沢・中軽井沢・追分・南地区）のうち、まずは「中軽井沢」を進めるのがよいと思う。中軽井沢には建物としても立派な駅があるので、駅を中心に10店舗程が入店できる商業施設等を作れば、中軽井沢エリア全体が盛り上がると思う。他のエリアにとっても、よい手本となるのではないか。
18	軽井沢駅北口から旧軽井沢銀座通りまでを歩いて楽しめる街並みにできるとよい。
19	8月中旬に「旧軽井沢銀座通り」を散策したら、町を代表する地域であるにも関わらず品格が損なわれているように感じた。通りは、店舗による客の呼び込みや、食べ歩きをする人で溢れていて、別荘客や昔から通っている客を無くしているように感じた。町職員にも、混雑する時期に「旧軽井沢銀座通り」を歩いて現状を知っていただき、このまま放置してはいけない事に気付いてほしい。
20	軽井沢－横川間の廃線を整備して、観光列車を走らせることが出来れば、観光の目玉になるのではないか。
21	樹木はそのまま成長させるのではなく適切な手入れをして育てた方が、豊かな自然を残すことに繋がると思う。その為にも、軽井沢町を「生活圏」と「自然豊かな場所」でエリア分けして、軽井沢の自然環境を保全したらどうか。
22	町内全域禁煙化を推進してほしい。川崎市では2006年に路上喫煙防止条例を制定した。軽井沢町は町の多くが森で覆われ、森林火災の危険もある。町全体を禁煙化することで、美しいまちづくりに貢献できるのではないか。